

## 第6回津別町市街地総合再生基本計画推進協議会 会議録

### 1. 開会

事務局：【欠席者の報告】岡本副委員長、山本委員、加賀谷委員

### 2. 会長挨拶

会 長：第5回会議録にあるように、今回は本協議会の目的や協議内容、計画の改善点などについて建設的に協議していこうと確認した。しかし、12月1日の臨時会において予算案が否決された結果を踏まえて、事務局から改めて今後の方針や経緯、結果などを聞き、本協議会の今後の進め方について協議したい。

### 3. 前回会議録の確認

事務局：今日配ったので、この場で承認をいただこうと思っていない。持ち帰って読んでいただき加筆・修正等あれば事務局まで連絡いただきたい。

### 4. 【報告事項】①前回協議会からこれまでの経過について

—事務局より説明—

委 員：第4回協議会で、アルファとの覚書について第5回で説明すると発言があったが、いまだ説明が無い。口頭で理解は難しいので覚書の写しを委員に配布し説明いただきたい。地方自治法232条の3に反しているのではと疑義を持っている。法律違反を起こすと地方自治法上無効となるので、説明いただきたい。また、12月広報のQ&Aで「開発事業者との事業継続は不適切では？」という質問に対して「専門機関に確認したところ、今回のことで優先交渉権を失うことにならない」という見解であるが、専門機関の窓口名と担当係、確認日を教えていただきたい。優先交渉権の締結日についてもお知らせいただきたい。前回の住民懇談会で買取事業という説明があった。これについて推進協議会で説明が無かったが、当初ドラッグストアとスーパーは民設民営、この他は一部を町が買い取りする方針であった。なぜ買取事業になったのか説明を求めたい。資料を揃えて次回お願いする。

会 長：別途町から資料を見せて、委員に説明する形で良いか。

委 員：構わない。買取事業にした理由だけ回答可能か。

会 長：時間をいただきたい。

### 5. 【報告事項】②まちなか再生調査特別委員会における議論について

委 員：否決なのはわかったが、何をもって否決なのか。ドラッグストアが来ることが否決なのか、整備事業自体が否決なのか。

事務局：反対討論で出た話が全てか。①住民合意がなされていない、なされたと思えるまで認めるわけにいかない。②町の進め方や手続きの話も言われている。アルファコー

トとの進め方にまずいところがあったのではないかという意見をいただいた。また、民設民営から公設民営となった部分で、住民の不信感があるのではないかと仰られた。共通して根底にあるのはドラッグストアの部分か。議会は起立採決なので、理由までは示されない。なぜこのような判断だったのかという点については、協議会として議会に働きかけることも可能かもしれない。

町長：内閣府への個別相談に担当課長補佐と職員が行ってきた。内容については報告のとおり。その10日後、別の要請行動の際に内閣府を訪問してきた。担当による個別相談の話にプラスして経過等について説明してきた。その際に気になっていた事項についても聞いたのだが、9月30日に国会議員が内閣府に照会をしていた。津別町が進めようとしている本事業が拠点整備交付金として認められるのか、また、反対意見が多い中で正しい進め方なのかという内容であった。内閣府としては「要件を満たせば採択となる可能性はある。合意形成の背景に意見する機関ではない。」と回答しており、本事業の交付金事業の申請に影響は無いと受け止めている。また、議会関係での経緯についてだが、行政として予算が無いことから困ることが多くある。スーパーとの協議については定期的実施しているが、要望が出てきたりしている。また、民家3軒の取得協議についても本当に事業が進むのかという疑問が生じている。北見バスやハイヤー会社との運行協議なども随時実施しているし、オホーツク総合振興局の道道拡幅に向けた調査を終えているが、どこまで拡幅するかという点は施設の建て方にも密接に関連してくる。JAについても移転してから2回目の冬を迎える。昨年困った現象が出てきたが、スーパーに影響が出ないかという点も懸念される。壁も崩れかけており措置に400万円ほどかかると聞いている。役場旧庁舎の解体も終わり、外構工事に入るわけだが、どこまで進めて良いかという部分も協議しきれない。これらのように事業が前に進まないという状況である。予算案の否決を受けて内部会議を開催し、分離発注（ドラッグストア棟を年度遅れで整備）を検討するためにドラッグストアやアルファコートの承諾が無ければできないことから、副町長と担当課長補佐が2社を出向いた。意向としては、双方前向きな回答を得ることができた。12月15、16日の定例議会で新たな補正予算案を提案したいと考えている。10日開催の全員協議会で分離発注の予算について議論いただく。定例議会で議決されれば本協議会も再開していく。ドラッグストアの整備が1年延びることとなったが、今後のまちづくりに必要なものという認識を持っている。店舗だけでなく、様々なノウハウを持っている会社なので関わっていきたいと思っている。色々な考え方はあるが町民の理解が深まるように努力していく。

## 6. 【協議事項】①補正予算否決への対応について

—事務局より説明—

会長：臨時議会で否決され、それに対する町の方針が示された。本日は議論する題材が見当たらない。定例議会で承認された後に、本協議会の進め方について協議したい。

委員：決定権は本協議会に無いので意見だけだが、町の方針の決定事項を示したような形

となっているが、ソフト面の基本設計を話す場としていた。現段階では次年度にドラッグストア棟が整備されないこととなっているが、町民が使いやすいものでいけば、スーパーとドラッグストアが一緒になった建物が好ましい。レジを一か所に集約することもシステムの的に可能。長きに渡って使いやすいように色々な案を出しながら協議していきたい。若い人の意見を聞くという手法もたくさんある。やっとソフトが揃い、これから建物の話をしましよというところに来た。妥協ではなく、町民が協議できる場所が必要。各機能におけるパブリックコメントなど。長いスパンで考えて町民の声を聞くべき。商品や面積面などドラッグストアも譲歩ができると言っている。その辺も含めて協議していきたい。

会 長：本来はそこを協議会で協議すべきだった。次回以降、それを協議して基本設計に活かしていくやり方としたい。

事務局：仰ることは理解できる。ただ何も決定したとは言っていない。

委 員：別棟の件や土地の使い方。あとは実施設計を予算化しようとしていた件など。

事務局：実施設計はスケジュール上、基本設計と並行して進められるように。設計者がいなければ建物の話もできない。設計を練り上げるのは委託後の話。

委 員：実施設計＝設計図が決まったあとの最終段階の話と捉えてしまっていた。

事務局：間違いではないが、基本設計＝誰が見ても理解できる図面。実施設計＝実際に施工に移るための図面で同時並行も可能。並行して進められる部分があるので、一括発注を求めている。

委 員：土地も JA が取得した土地との交換なども可能なのかなども協議ができるのか。

会 長：設計者がいない中で協議する材料が無い。議会承認が無ければ議論する材料が出てこない。定例議会で承認されれば材料が出てくる。

委 員：サツドラで最低限の面積などが出せれば、複合的な部分も検討できる。どこで否決されたのかなど、議論を深めていただきたい。町民の意見も聞いていただきたい。

会 長：今回は議論する材料が無い。次回、材料が出てきてから議論に入りたい。

委 員：内閣府の補助事業を補助申請するのかなど。また、スケジュール表について一括で説明した方が良いのでは。スケジュール表の実施設計は図書館も含めて入っているか。第1回推進協議会では図面が出されている。今回の設計とはどのような関連性を持っているのか。実施設計に図書館が入っているのであれば、推進協議会の中で「この図書館で良いか」という議論がなされて実施設計に結び付くのか。議会で否決されたのは、基本設計・実施設計の64,900千円という金額が問題。実施要項・要求水準があれば推進協議会で提示してほしい。買取事業の基準などが定められているはずである。それが出なければ推進する議論にならない。

事務局：実施設計に図書館も当然入っている。次回提案する補正予算案は1棟分の金額となると考えている。プロポーザルの実施要項や要求水準はあるので出すことは可能だが、書いてあることが違うので契約が不適切だとかの議論のためであれば配付する気は無い。

委員：前向きな議論に向けて必要なことである。

事務局：事業の進め方が要綱と違うというチェックするためではないのか。

委員：図書館機能など議論もしていないのに実施設計に入るのか。その前提となるための実施要項や要求水準などを提示してほしいという話である。イベント広場の創設なども記載があった。それをどう配置したいとか、土地の形状を変えて検討してはなどの議論の材料として。変更となったものを出していただきたい。

会長：そういうものが次回の資料として認識している。

事務局：「変わったものを出して」という部分が引っかかる。要綱の中で国交省の補助事業を使うことはマストにしていない。作る基準や提案の意図などを読み取るためであれば配付したい。

委員：「どういう構造か？」という質問に対して事務局は「鉄骨」と回答した。景観上、木の町なのに鉄骨造りで良いのか。地域再生を考えたときには、その辺りも検討すべき場では。議論のために基本になるものを示していただきたい。

会長：次回示せるように用意したい。そこで建設的な議論を行いたい。

委員：坪数なども実施要項などに出てくる。それも含めて議論すべき。内閣府補助の話もあるが、申請すると建てるのがマストになる。そこまでを含めた議論のため、補助事業の活用を次年度以降に後倒しすることはできないか。

事務局：時間をかけて良いものを作りたいという考えは理解できる。ただ、町としては大まかなスケジュールの着地点を伸ばしたくないというのも正直な思い。完全公開で誰でも入れるワークショップなどもできるのが理想。

委員：スケジュールの話で、先延ばししたくないのは理解する。ただ、厳しいスケジュールに見える。そこも含めて柔軟な目線で検討しても良いのでは。

事務局：我々も本当は時間をとりたい。しかし、事業申請のタイミングなどは待ってくれない。8月に交付決定される交付金もあるが、年度内完成を考えると北海道では現実的ではないし繰り越しも不可。今示しているのはギリギリの工期だがスケジュールは改めて作っている。

委員：例えば次年度の内閣府補助を活用するなど検討できないものか。

町長：仰ることは非常によくわかる。ただ、本来は去年スタートの予定が遅れている。2年続けて遅れるのは他からの信用にもかかってくる。伸ばすかどうかは議会と協議する案件。本協議会は中身を議論する場。今回もほとんどの町議が傍聴しているが、10日の全員協議会で協議する。2棟建てになっているが、プロポプレゼンの段階で、彼らも地元と話をしている。スーパーとドラッグストアが併設している方が使いやすいのも事実。ただ、スーパーの意向として別棟を希望しているので、そこを無視することもできない。利害関係や思いなど運営者のことも汲み取る必要がある。

委員：内情がわからないので町民目線での意見だった。当時は民設だったので別棟だと思っていた。町民が使う施設なので、町民ファーストをお願いしたい。

委員：各委員言っていることはわかるが意気投合していない。議会で否決されたのは残念なことだが、否決の理由だった町民合意についての意見が無い。こうすることで町

民理解を得ることができる。というような提案が必要か。

## 7. 今後の推進協議会スケジュールについて

－事務局より説明－

会 長：次回は資料をそろえて、年内もしくは年明け早々に開催したい。タイトなのは重々承知している。

事務局：アルファコートとの契約なども含めて、年内に材料が揃うのかという点は懸念。年内にできるのか、1月の早い段階でできるか検討したい。

委 員：今回、協議する案件が無いのであれば、文書一本で良かったのではと感じる。補正予算案の否決は事務局としても予想外の事態だったと思う。文書でも委員から理解いただけるのでは。その中で各委員から意見や質問を聴取しても良かったのではないだろうか。今後もどのような動きになるのか、情報共有があれば良い。メモ書き程度でも充分。限られた時間の有効活用に配慮いただきたい。

委 員：今回の会議は、丁重な説明の第一歩と評価する。文書だけでは理解し難い部分も多い。今回は協議会を開催したことが大事なことであったと思う。議会にどこまでの補正予算案を出して承認を得ようとしているのか。ドラッグストアも含めた予算なのか。1年遅れで整備することを議会は承認しているのか。

事務局：予算に関して考えているのは、ドラッグストア分を除いたものを提案する予定。1年先送りする部分についてはこれから初めて示すこととなる。

委 員：木内委員が言ったとおり、ドラッグストアの先送り以外は何も変わっていない。他の問題についても住民から意見が出ている。そこをどうするのか方針を出してほしかった。そこを置いておいて図書館部分などの設計を補正するのはどうかと思う。協議の材料のための概略設計に係る補正などに留めるべきでは。昨年9ヶ月開催しなかったロスは大きい。その上で時間が無いというのは理解しがたい。

委 員：問題があるのは承知しているが、地方議会の質や位置づけも問われている。何が理由で反対で、どうだったら賛成できる、住民の合意とはなにか、どうすれば合意がなされているのかなど明確に示すべき。議会のありようについても問題が浮き彫りになったのでは。

委 員：合意ってなんだろうというのは疑問。議会で示された際に協議会で議論していきたい。若者の声としては、ちびっこクラブとの協議を支援センターで実施いただきたい。もう一度話を聞かせていただきたいと思う。

事務局：コロナも落ち着いているので検討したい。

委 員：行程表で実施設計が4ヶ月しかないが、町民の意見を汲み取り、まとめきれぬのだろうか。2月末に確認申請だと実質2月中に設計完了か。そうなると町民とのやり取りが薄くなり合意形成がなされないことが懸念される。設計期間に猶予が必要では。着手の先延ばしも含めて検討するべきでは。設計者側の都合も住民合意も含めて不安である。

事務局：先ほどもお話したが改めて行程表を作成しているので、完成後に示したい。